

## シリーズ「職場での新型コロナウイルス感染症対策」

### (その11) ワクチン

医療関係の事業場では、かなりの従業員がすでにワクチンを接種されていることでしょう。また、65歳以上の高齢者へのワクチン接種も始まっていますが、定年の引上げや継続雇用で、事業場内に65歳以上の労働者が在籍するところもあるでしょう。従業員に周知されるべきワクチンに関する情報をまとめました。

- ワクチンの発症予防効果は95%、つまり発症するリスクが20分の1になるといわれています。これはインフルエンザのワクチンと比べると驚異的な効果の高さです。
- ワクチンは3週間の間隔をあけて、2回接種します。肩に筋肉注射します。
- 接種後に疲労・だるさ・発熱などが多く報告されていますが、1～2日でおさまるようです。2回目の接種後の方がそれらの程度が強いようですので、その日は休みを取れるようにしたいものです。なお、消炎鎮痛剤を前もって飲んでおくのは勧められていないようです。
- 重い副反応として、アナフィラキシーがあります。発生頻度は100万回に2～5回といわれています。ほとんどは15～30分以内に発症しますので、接種後15～30分はそのまま経過をみて、アナフィラキシーが起きた場合は直ちに医療従事者が必要な対応を行います。
- 日本で承認されたファイザー社のワクチンはmRNA(メッセンジャー アールエヌエー)という新しいタイプのワクチンです。なんだか人間の遺伝子に入り込んで、後にがんが起こるようなイメージがあるかもしれませんが、それは間違いです。mRNAは体内でウイルス表面のタンパク質を作ったら速やかに分解されて、体に残りません。
- ワクチン接種後も引き続き感染対策は継続しましょう。
- ワクチン接種は個人の意思で行うものです。事業者が労働者に接種を強制してはいけません。
- ワクチンを接種したかどうかということは個人情報です。労働者に申告を強制してはいけません。
- ワクチン接種をしない労働者に対して不利益な取り扱いをしてはいけません。
- ワクチン情報は、国や自治体が発表するもので確認すると、間違いがありません。

#### ★新型コロナワクチンについて

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine\\_00184.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html)

#### ★コロナワクチンナビ

<https://v-sys.mhlw.go.jp/>

